

FX の**超**基礎知識はこれで十分！

早速FX取引を始めたいあなたへ
FX取引のポイントまとめました



by あやな

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。
本冊子の著作権は、発行者にあります。
本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません

目次

FXってなあに？	4
FXは眠らない	5
10万円が100万円に変身！？	5
外貨預金が不利なワケ	6
買ったり売ったり自由自在	7
ロングとショート	8
優秀なトレーダーとは	10
目指せ！100枚取引！	10
あなたはギャンブラー？	11
こんなトレーダーになりたい	12
有利な時間帯	12
トレードスタイル	13
どの通貨をトレードする？	14

FX取引のポイントまとめました



こんにちは。あやなです。

トレーダーのためのブログを書いています。

⇒ <http://mentaltrading.biz/profile>

FXってなあに？

『FX＝外国為替証拠取引』

「漢字がいっぱいでムズカシイ・・・」

私がFXに興味を持った時、そう感じた。

「外国為替証拠取引？ようするに何なの？」

本屋で毎日立ち読みして勉強した。

『外国為替証拠取引』は「アメリカやヨーロッパといった**外国のお金を買ったり売ったりすること**」というのがわかった。

「外国のお金、どうやったら買えるんだろ？」

調べてみると、FX会社に口座を開くだけでスグに買ったり売ったりできるのがわかった。

利益を出す方法もカンタンだというのがわかった。

「安い時に買って、高くなったら売る」

「高い時に売って、安くなって買い戻す」

これだけだった。

F Xは眠らない

「F Xって24時間取引できるんだ！スゴイ！」

最初はちょっと驚いた。

株式市場だと売買できるのは9時から15時までだけど、F Xは24時間動いているから**24時間売買できる**というのだ！

「パソコンやスマホ、携帯があればいつでもどこでも取引できるじゃん！」

なぜかちょっとだけうれしくなった。

「早速F Xで取引してみよっかなあ」

そんな気持ちになった。

『F X会社で口座を開いて入金すればスグに取引できる』ということも知った。

レバレッジ効果で10万円が100万円に！

「10万円しかお金がなくても100万円分の取引ができるからF Xは庶民の味方なんですよ」

本屋の立ち読みでそんなことがわかった。

「なんで10万円しかなくても100万円分の取引ができるんだろ？」

調べてみると、取引したお金の『差引分』だけ支払えるお金があれば「レバレッジ」というシステムで**最大25倍までの取引**ができるらしい。

「ふーん、だから10万円だけでも100万円分の取引ができるんだ。なんだかそれだけでお金持ちになった気分になるね♪」

「あれ？まてよ、10万円しかないのに100万円分の取引してもし負けたら、後から90万円支払わなきゃいけないんじゃないの？」

実は通常は口座に入れた金額以内で損が収まるようにできていて、10万円の入金なら10万円以上の損をすることはない。

「ああ 良かった。入れたお金以上の損が出ないなら安心して取引できるね」

外貨預金はとても不利だった！

「FXって外貨預金と同じじゃないのかな？」

何度も立ち読みで粘ったのを見られたのか本屋の店員の冷たい視線を感じていたが、さらに本屋で立ち読みして調べてみた。

『銀行で1万ドル買ったなら手数料は1万円。
FX口座なら1万ドル買っても手数料は無料』

「えーっ そんなに違うの！？銀行、ボッタクリじゃん！」

(銀行の方、ゴメンナサイ)

「ってことは、外貨預金するくらいならFX口座にお金を預けてた方がいいよね。」

「金利も違うのかな？」と思い調べてみた。

なななんと！ここで驚愕の事実を知ることになった。

『銀行に預ける時の金利は、円でさえ0.5%くらいなのに、FX口座に預けるとメジャー通貨のドルですら2.00%もある。』

『4~5%の金利通貨もザラにある』

「銀行よりF×口座の方が何かと有利なんだな。
銀行は、やっぱりボッタクリじゃん！
(今度は銀行の方に謝らないからね!)」

(銀行の方へ。冗談です。スイマセン)

外貨預金がF×口座より不利な部分はまだあった。

『外貨預金は長い期間預けなきゃいけないくて
必要な時にすぐお金を引き出せない』

『外貨預金だとF×口座で預けておくより
高い税金を払う必要がある』

「そうなんだあ。F×口座って何かと**優遇**
されてるんだねー」

F×の仕組み～買ったたり売ったり自由自在～

『最初はデモ口座から取引してみるのがいい』

そんなことを本屋の立ち読みで知っていた。

『デモ口座』というのは、架空の口座に
一定額の架空のお金が入っていて実際の
市場と同じように取引ができるものだ。

それぞれのF×会社が独自で提供している
F×取引練習場のようなものだ。

**「確かに、最初は何でも練習から入るのが
当然だよな」**

F×会社のホームページからデモ取引登録
画面に行き、そこから登録をすればすぐに
デモ口座で取引を始めることができた。

「さー取引始めるぞ。早速買いでエントリー！
よしっ 今度は売りでエントリー！」

(F×で最初にも買ったたり売ったりすることを
「エントリー」と言う)

最初はよくわからないことが多かったけど、
とりあえず色々なボタンをクリックして
取引の練習をしてみた。

エントリーボタンを押してみるとそこに
『ポジション』が発生するのがわかった。

「97円でドル/円を買いエントリーしたら
97円で買いのポジションを持っている』

というように表現するらしい。

ポジションを持ったら次は反対売買をして
持ったポジションを手放す必要があった。

「えーと 買った後は売って決済すればいいのか。
『決済ボタン』っていうのもあるな。」

反対売買をするか、「決済ボタン」を押すことで
持ったポジションを手放して、その差益を手
入れることができた。

ロング・ショートの意味

「買いでエントリーして売って決済」

「売りでエントリーして買って決済」

そんなことを何回か繰り返しているうちに

「ロング」「ショート」という言葉があるのを知った。

「ロング？ショート？なんじゃそりゃ？」

本屋の店員の冷たい視線に耐えきれなくなったから
立ち読みではなくネットで調べようと思った。

・ 買い = ロング (L)

・ 売り = ショート (S)

そんな風に表現すると知った。

「よしっ 買いだからロングするぞー。ドル/円
100円でロングッ！」

「今度は売り、ショートだっ！私は今、
ショートポジションを持っている！」

デモ口座で気軽取引の練習をしているうちに

「あれ？買う時の値段と売る時の値段が
なんか違う・・・」

ということに気づいた。

買いの表示金額は『100.05円』なのに
売りの表示金額は『100.00円』となっている。

実はこの差額『5銭』がFX会社に支払う
手数料になっていたわけだ。

これを『**スプレッド**』というらしい。
「なるほどねー スプレッドが**手数料の代わり**なんだね」

「スプレッドはどのFX業者でも同じなのかな？」

ネットで調べてみると、FX業者によってスプレッドが
違っていることがわかった。

A業者はスプレッドが5銭
B業者はスプレッドが10銭

という感じだ。

「じゃあ、**スプレッドは狭いほうが有利**だね」

と思った。

500 pips で優秀なトレーダー

取引した時に出ているポジションを見ると『5 pips』とか『10 pips』という表示が出ていることに気づいた。

「この『pips』っていうのは何だろ？」

(本屋の立ち読みよりネットで検索しようっと。
冷たい目線も感じることはないしね♪)

そう思った私は、早速ネットで検索した。

「pips というのはFXの世界で共通させている単位。
5銭=5 pips、5セント=5 pips」

「pips はピプスとかピップス、ピピと呼ぶらしい」

「月に500 pips 獲得すれば、かなり優秀なトレーダー」

そういったことが分かった。

「500 pips っていうのは値幅で言うと5円か。
たった5円の値幅を取ればスゴイって言われるんだね」

月に500 pips 獲得できるトレーダーにそのうち私もなれるのかな、と思った。

目指せ！100枚取引！

取引する時には他にも単位があるのを知った。
『1000通貨とか1万通貨』といったコトバだ。

「1枚って言うのは1万通貨のことなんだね」

「えーとドルで1万通貨っていうのは日本円にすると
100万円のことかあ」

(※1ドル=100円の場合)

「じゃあ1000通貨っていうのは10万円の
ことなんだね。」

「最初は1万通貨じゃなくって1000通貨で取引してみるのがよさそうだな」

と思った。

「うーん、将来的には100枚で取引してみたいな。」

「100枚って言ったら100万×100枚=1億円！わお、すごく儲かりそう！」

そんな妄想をしながらデモ口座で100枚の売買をして遊んでみたりもした。

デモ口座で取引するのは架空のお金だから10万や20万円の損が出てても全然平気だった。

あなたはギャンブラー？

『FXはギャンブルと同じですよ』

ある日、そんなことがネットに書いてあるのを見つけた。

『パチンコとか、競馬とかそういったギャンブルと似たようなもの』

『でもFXはパチンコとか競馬よりも還元率が高いから儲けやすいよ』

ということも書いてあった。

「へー ギャンブルなのかあ。大丈夫かな。。」

私は少し心配になった。

『長期的に利益を上げるなら、「リスクコントロール」が大切ですよ。』

『1か月で「10万円まで負けてもいい」と負けてもいい金額を決めてトレードするといいですよ』

『そうすれば、大負けすることはないです』

そんなことがネットに書いてあった。

「親切に教えてくれる人もいるんだな。ありがたい。」

素直にその人の言うことを聞こうと思った。

「こんなトレーダーになりたい！」を見つけよう。

『トレード』といっても、やりかたはいくつもあることがわかった。

- ・外貨預金のつもりで金利目的に保有する
- ・スキャルピングやデイトレードやスイングなどのトレードをする
- ・高いリスクを受け入れてギャンブル的なトレードする

色々なトレード方法があるけれど、「こんなトレーダーになりたい」と目標を決めると早く成長できると知った。

「私は売買差益で効率よく利益を出したいからデイトレードをしようかな」

そう思ってデイトレーダーになる目標を決めた。

『デイトレード』というのは一日で売買を完結する効率の良いトレードのやり方だ。

デイトレードする人を『デイトレーダー』という。

F Xするのに有利な時間帯は？

「FXは24時間取引できるらしいけどどの時間に取引してもいいのかな？」

そう思ってネットで調べた。

『デイトレード』でトレードする時は、「価格がよく動く時間帯をトレードしたほうがいい」

というのがわかった。

F Xの値動きは『株式市場』と連動しているから
株式市場が開いている時がよく動きやすいという。

「え？じゃあ結局9時から15時までしか
動かないってこと？」

一瞬そう思ったが、アメリカやヨーロッパなどの
株式市場が開いている時もよく動くらしいから
日本の夕方とか深夜でも取引できるというのがわかった。

あなたはどんなトレードスタイルを目指す？

「デイトレード以外のトレードスタイルは何か
あるんだろう」

本屋の店員の冷たい視線を気にすることなく
ネットで何でも調べられることがうれしかった
私は、トレードスタイルについてさらに詳しく
ネットで調べてみることにした。

- ・ スキャルピングトレード
エントリーからエグジット（決済）が1秒～10分くらい。
- ・ デイトレード
エントリーからエグジット（決済）が数分、数十分～数時間くらい。
- ・ スイングトレード
エントリーからエグジット（決済）が数日から数週間、それ以上。
- ・ スワップトレード
金利を目的に長期間保有する。今では通用しないトレード手法の一つ

こんな風に大きく4つのトレードスタイルに
分けられるのがわかった。

「時間効率、資金効率を考えるとスキャルピングか
デイトレードがいいよね」

「スキャルピングは高い技術が必要で、反射神経や
判断能力が高い人でないと難しいらしいから、
私はやっぱりデイトレードで決まりだね！」

「スイングトレードも面白そうだけど、結果が出るのに多少時間がかかるらしいから今はスイングトレードをするのはやめておこう」

そう思った。

最初は何の通貨をトレードしたらいいの？

「やっぱ最初は、なじみのあるドル円を取引するのがいいよね♪」

単純にそう思った私はドル円の取引を始めた。

しばらくドル円だけを見る日々が続いたが、ある日ネットにこんなことが書いてあった

『最初取引量が多くて安定しているユーロドルがトレードしやすい』

「えー ドル円はダメなのかな？ うーん、ここは素直にユーロドルをトレードしてみるか」

後から分かったことだが、ドル円は人気の通貨だが、動く値幅を考えるとドル円よりユーロドルの方が値幅が大きく、トレードしやすいということだった。

「最終的にはあなたがトレードしやすい通貨を選ぶのがいいよ」

ということも書いてあった。

「要するに、自分次第ってことなんだね」

トレードは選択肢が多いんだなと思った。

レポートの内容は以上だ。

F Xについて少しでも参考になっただろうか。

これを読んで、ご意見・ご質問があれば
ぜひメールください。

必ずお返事差し上げます！

では、次回のメール講座をお楽しみに！

あやな

運営ブログ：[トレーダーが勝つために必要な考え方](#)

⇒ [お問い合わせはこちら](#)